

# 城山小学校みどりの少年団が 全国緑の少年団活動発表大会で発表しました！

「全国緑の少年団活動発表大会」が11月12日に大分市のiichiko総合センター 音の泉ホールで開催されました。今年度の「みどりの奨励賞」に選ばれた「城山小学校みどりの少年団」（海津市）を代表して村瀬綺花（むらせあやか）さん、岡田梨衣咲（おかだりいさ）さんが活動発表を行いました。

城山小学校みどりの少年団は、令和2年度に結成したばかりですが、今回は、「ふるさと城山自然と伝統」をテーマに1年間の活動の様子を元気よく発表しました。3年生は、城山の森の中でお気に入りの木を見つけ、木の名前を調べ、集めた葉っぱで図作品を作って、身近な自然をみんなで体験しました。5年生は、柿の栽培に取り組み、地域の人との協力を得ながら、摘蕾、摘果など、一連の作業を体験し、力を合わせて1800個ものカキを収穫し、農家の人の大変さや働くことによって人の役に立つ喜びを感じることができました。こういった身近な自然や特産物を大事にし、新たな発見や喜びを感じる姿に会場からは大きな拍手をいただきました。

大会終了後の交流では、秋篠宮皇嗣殿下同妃殿下に活動のあらましを説明した後、参加した緑の少年団たちとの交流集会を楽しみました。翌13日には第45回全国育樹祭式典行事に臨み、緑の少年団を代表して全国育樹祭大会会長賞を受領し、「緑の贈呈」では、大分県のみどりの少年団が育てたサザンカの苗木が贈られました。

大会を振り返り、城山小学校みどりの少年団は、とても緊張したと思いますが、貴重な体験ができたことと思います。これからも緑や自然、地域を愛する人へ健やかに成長されるとともに、みどりの少年団活動の伝統を引き継いでいってほしいと願っています。

<11月12日 全国緑の少年団活動発表大会の様子>



団旗の入場受渡



発表のはじまり

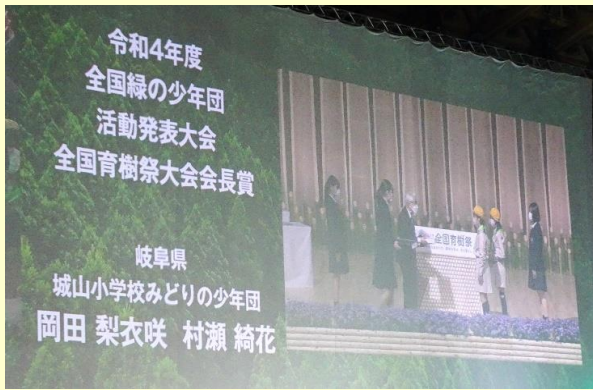


発表の様子



表彰

<11月13日 第45回全国育樹祭式典行事の様子>



全国育樹祭大会会長賞を代表受領



緑の贈呈(サザンカ)